

2月 大規模災害発生に備えて
15日 災害ボランティアセンター訓練



◀訓練の様子

保 健福祉センターけやきで災害ボランティアセンター設置運営訓練が実施されました。災害ボランティアセンターは大規模災害が発生した際に地域住民の生活再建を円滑に行うために設置されます。訓練には、区長会役員、民生委員、民間企業の社員、菰野高等学校の生徒などあわせて約80人が参加し、災害ボランティアセンターの役割などについて学んだあと、災害時のトイレ対策の講習を受講しました。

2月 東京で開催される全国大会に出場
18日 桑員ボーイズが全国大会へ



◀表敬訪問での記念撮影

サ ラスポーツ杯第56回全国春季大会三重県支部予選で優勝した桑員ボーイズに所属する酒井陽大さん（菰野中2年）、土井智陽さん（同）、成井孝多さん（同）、諸岡恵輔さん（八風中2年）が町長を訪問しました。代表して酒井さんは「準決勝も決勝も接戦でしたが、勝ち切れてよかったです。三重県代表としての自覚を持って、全国制覇を目指して頑張ります」と抱負を語りました。

2月 菰野町の文化振興にさまざまな面で貢献
3日 文化功労者を表彰



◀受賞した文化功労者の皆さん

町 内の学術、芸術等の充実に貢献し、文化の振興に貢献した方や団体などを表彰する令和7年度菰野町文化功労者表彰式を役場本庁で開催しました。

功労表彰者（敬称略）			
受賞者名	表彰分野	受賞者名	表彰分野
おがわあきこ 小川明子	華道	ひぐちみちお 樋口迪夫	写真
おくむらゆきこ 奥村幸子	茶道	まつおかくみこ 松岡久美子	書道

2月 豊かな森を守り育てるために
4日 森づくり宣言書調印式



◀写真右から三重県農林水産部柘屋部長、成瀬代表取締役、町長

三 重県が推進する「企業の森」制度の取り組みとして、新報国マテリアルの森（埼玉県）と三重県と町による「新報国マテリアルの森」森づくり宣言書調印式を役場本庁で行いました。企業の森とは、企業などがCSR活動や福利厚生の一環として、植樹や下刈りなどの森林整備を行う取り組みです。今後、千草地内の森林（約1畝）において植栽等の森林整備を三者で協働して進めていきます。

1月～ 足湯につかりながら電車での旅路を楽しむ
2月 観光列車つどい「足湯列車」



◀足湯を楽しむ乗客たち

近 鉄名古屋駅～湯の山温泉駅間で観光列車つどい「足湯列車」を運行しました。車内には町商工会青年部が製作した足湯キットが設置されており、運行当日に汲んだ町の温泉を使った足湯につかりながら旅を楽しむことができます。今年は1日1往復、計8日間の運行を行いました。乗客たちは足湯で温まりながら菰野の地酒や特産品を味わい、車窓の景色を楽しんでいました。



2月 企業版ふるさと納税を活用した寄附を受領
2日 (株)東産業へ感謝状を贈呈



◀写真右から伊藤取締役社長、町長、木室相談役

企 業版ふるさと納税（地方創生応援税制）を活用した寄附を受領したことに、(株)東産業へ感謝状を贈呈しました。今回いただいた寄附は、地域再生計画「菰野町まち・ひと・しごと創生推進計画」のうち、「湯の山温泉の活性化と新たな観光の取り組み」に活用します。

1月 大規模災害に対応するため協定を結ぶ
26日 大和ハウス工業(株)と協定



◀大和ハウス(株)三重工場の杉野工場長（写真左）と町長

大 和ハウス工業(株)三重工場と菰野町の「災害時における支援協力に関する協定」締結式を役場本庁で開催しました。この協定は、大規模災害が発生した際に、町が迅速かつ円滑に災害復旧に対応するため、施設や設備、物資等を提供いただくものです。締結にあたり町長は「災害はいつ発生するか分からないので備えが大切です。有事の際には町民の皆さんの安全を守るために有効活用させていただきます」と述べました。

2月 力を合わせて綱を引く
1日 綱引き大会を開催



◀一生懸命綱を引く参加者たち

第 15回菰野町民綱引き大会が体育センターで開催され、男子の部4チーム、女子の部4チームの男女合わせて104人が参加しました。試合は総当たり戦で行われ、会場では白熱した試合が繰り広げられました。